

# 感染症の知識

## HIV感染症・エイズ 編

— HIV infection ,  
Acquired Immuno-Deficiency Syndrome (AIDS) —

編集/発行

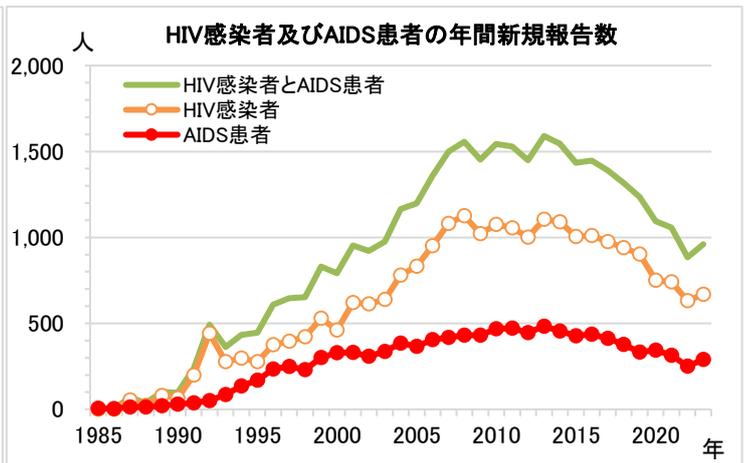
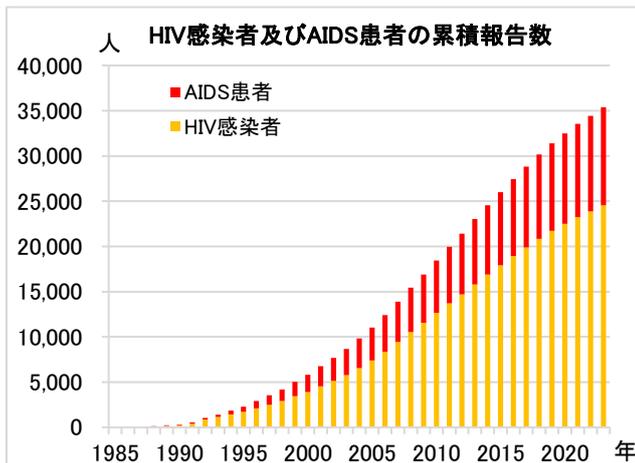
京都府丹後広域振興局健康福祉部  
京都府丹後保健所 保健課

〒627-8570 京都府京丹後市峰山町丹波855

TEL.0772-62-4312

FAX.0772-62-4368

### ■現在、1年間の新規HIV感染者は600人以上！！



日本国内のHIV感染者及びAIDS患者の累積報告数(凝固因子製剤による感染例を除く)は、2023年に35,000人を超えました。

2023年の新規報告数は、HIV感染者669人、AIDS患者291人の合計960人でした。2013年をピークに減少傾向でしたが、2023年は増加に転じました。

注)「HIV感染者」: 感染症法の規定に基づく後天性免疫不全症候群発生届により無症候性キャリアあるいはその他として報告されたもの。

「AIDS患者」: 初回報告時にAIDSと診断されたもの。(既にHIV感染者として報告されている場合は除く)

区分	新規 HIV感染者	新規 AIDS患者
1990年(H2)	66	31
2000年(H12)	462	329
2013年(H25)	1,106	484
<b>2023年(R5)</b>	<b>669</b>	<b>291</b>

### ■HIV感染症とは？ エイズとは？

<b>HIV感染症</b>	HIV(Human Immunodeficiency Virus:ヒト免疫不全ウイルス)を原因とする感染症で、体を病気から守っている免疫力が低下します。
<b>エイズ(AIDS)</b>	HIV感染後、免疫力が低下すると出現する日和見感染症※などを発症し、23の指標疾患の1つ以上が明らかに認められる場合に、AIDS(Acquired Immuno-Deficiency Syndrome:後天性免疫不全症候群)と診断されます。

### ■HIV感染症・エイズはどんな症状がでるの？

HIV感染症に特有な症状はありませんが、感染初期に風邪に似た症状が出る場合があります。

HIV感染後、自覚症状のない時期が数年続き、さらに進行すると免疫力が低下し、日和見感染症※、悪性腫瘍等を合併してエイズを発症します。エイズの症状は合併症によるもので、多くの場合、ニューモシスティス肺炎に伴う呼吸器症状(咳、痰など)があります。

#### ※日和見感染症とは？

免疫力が低下すると出現する感染症です。代表的なものに、カンジダ症、ニューモシスティス肺炎、サイトメガロウイルス感染症などがあります。

また、エイズ発症の指標疾患の中には、抵抗力が下がることで発症する悪性リンパ腫やカポジ肉腫などの腫瘍もあります。

### ■HIV 感染症の治療は？

HIV感染者の予後はHIV治療法の進歩により改善しています。HIV感染の早期発見、治療の早期開始・継続により感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。



1日1錠の服薬治療



1か月又は2か月に1回の注射治療

※U=Uとは、治療を継続することで、血中のウイルス量を検出限界値未満に抑え、その後も少なくとも6か月間維持されている状態のHIV感染者から、性的接触を通じてHIVが感染することはないことを指します。

**U=U**  
Undetectable = Untransmittable  
検出限界値未満は HIV 感染しない

---

**STOP AIDS**

12月1日は世界エイズデー

### ■HIV感染症はどうやってうつるの？

\* 感染経路の割合は 2023 年(日本) のデータ参照

<b>性行為による感染</b>	HIV感染者との性行為による感染。HIVは感染者の血液、精液、膣分泌液に多く含まれており、相手の性器や肛門、口などの粘膜や傷口を通して感染(感染経路の約85%、同性間性的接触71.2%、異性間性的接触13.5%)
<b>血液感染</b>	HIV感染血液の輸血や注射の回し打ちによる感染(感染経路の0.3%)
<b>母子感染</b>	HIV感染している母親から妊娠中や出産時、母乳から感染(感染経路0%)

※感染経路:その他不明約15%

### ■HIV感染しないためには？

#### 性行為による感染

- ★性交・オーラルセックス(口腔性交)の際は、必ずコンドームを使いましょう
- ★性器具の共用はやめましょう



#### 血液感染

- ★注射器具の共用はやめましょう

#### 母子感染

- ★服薬、帝王切開、人工乳で予防しましょう



### ■HIV感染予防薬とは？

#### ★PrEP(プレップ)曝露前予防

性行為の前から抗HIV薬を1日1錠毎日内服し、90%以上のHIV感染の予防効果があります。



#### ★PEP(ペップ)曝露後予防内服

HIVに感染したかもしれない行為の後(曝露後)72時間以内に、抗HIV薬の内服を開始して、HIVに感染するリスクを低下させます。

### ■こんなことでは感染しません

HIVは感染力が弱く、日常生活において性行為以外で感染することはほとんどありません。



お風呂やプール



洋式トイレの便座



ノミや蚊に刺される



咳、くしゃみ、汗、涙



鍋など同じ料理をつつく

### ☆☆☆ HIV検査 ☆☆☆

丹後保健所のHIV検査は、匿名・無料・予約制です。

採血した血液中のHIV抗体の有無を調べます。

【従来検査】検査機関において抗体を調べるため、約2週間後に再度来所していただき結果をお知らせします。

#### ～検査のタイミングは？～

HIVに感染していても、感染初期には血液中に抗体が検出されない期間(ウィンドウ期間)があります。感染の可能性があって12週間以上たってから検査を受けましょう。

(資料)令和5(2023)年エイズ発生動向年報

(参考文献)「HIV・エイズの基礎知識」公益財団法人エイズ予防財団、エイズ予防情報ネット API-Net

#### < 感染症情報 >

京都府感染症情報センター

URL <http://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

国立感染症研究所 感染症情報センター

URL <http://www.nih.go.jp/niid/ia/from-idsc.html>